

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（2006年8月25日設定）	
運用方針	<p>マザーファンド受益証券への投資を通じて、外国の債券に投資し、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。アッパーミドル諸国の政府等または国際機関等が発行する当該国通貨建ての債券を中心に投資し、安定した利子収益の獲得をめざします。当ファンドにおいて「アッパーミドル諸国」とは、先進国と新興国の中間領域に位置する国として委託会社が判断した国とします。アッパーミドル諸国の中から、信用等级がA～A+格相当の国を中心に、債券市場の規模、通貨・投資に係る規制等を勘案のうえ、金利水準が高い国を複数選定します。アッパーミドル諸国の通貨別資産配分は均等を基本とします。また、ポートフォリオ構築にあたっては、各国毎に当該国の国債市場全体のデュレーションを参考にします。投資対象とする債券は、当該国通貨建ての国債、政府保証債、政府機関債、地方債および国際機関債とします。ポートフォリオの流動性等を補完するため米国国債に投資することとし、信託財産の10～20%程度を基本資産配分とします。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質的な組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>	
主要運用対象	ベビーフンド	グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。このほか、当ファンドで直接投資することがあります。
	マザーファンド	外国の債券を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーフンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。  
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）」およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）の適用対象です。  
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## 運用報告書（全体版）

# グローバル・ボンド・ ニューマーケット （毎月決算型）

愛称：星こよみ



第178期（決算日：2021年8月24日）  
 第179期（決算日：2021年9月24日）  
 第180期（決算日：2021年10月25日）  
 第181期（決算日：2021年11月24日）  
 第182期（決算日：2021年12月24日）  
 第183期（決算日：2022年1月24日）



## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
 さて、お手持ちの「グローバル・ボンド・ニューマーケット（毎月決算型）」は、去る1月24日に第183期の決算を行いましたので、法令に基づいて第178期～第183期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。  
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



## 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用  
フリーダイヤル **0120-151034**  
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、  
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	み 期 金 騰 落			
	円		円		%	%	百万円
154期(2019年8月26日)	3,944		20	△ 6.1	93.5	—	5,039
155期(2019年9月24日)	4,115		20	4.8	93.4	—	5,233
156期(2019年10月24日)	4,200		20	2.6	94.3	—	5,290
157期(2019年11月25日)	4,150		20	△ 0.7	92.6	—	5,199
158期(2019年12月24日)	4,254		20	3.0	93.6	—	5,280
159期(2020年1月24日)	4,322		10	1.8	92.6	—	5,333
160期(2020年2月25日)	4,306		10	△ 0.1	93.6	—	5,254
161期(2020年3月24日)	3,392		10	△21.0	95.1	—	4,115
162期(2020年4月24日)	3,519		10	4.0	95.7	—	4,241
163期(2020年5月25日)	3,716		10	5.9	90.9	—	4,471
164期(2020年6月24日)	3,738		10	0.9	97.4	—	4,477
165期(2020年7月27日)	3,733		10	0.1	97.9	—	4,453
166期(2020年8月24日)	3,761		10	1.0	96.8	—	4,459
167期(2020年9月24日)	3,715		10	△ 1.0	97.8	—	4,360
168期(2020年10月26日)	3,756		10	1.4	97.4	—	4,346
169期(2020年11月24日)	3,859		10	3.0	96.8	—	4,378
170期(2020年12月24日)	3,879		10	0.8	97.7	—	4,315
171期(2021年1月25日)	3,883		10	0.4	97.8	—	4,276
172期(2021年2月24日)	3,832		10	△ 1.1	98.3	—	4,166
173期(2021年3月24日)	3,778		10	△ 1.1	97.1	—	4,071
174期(2021年4月26日)	3,808		10	1.1	96.8	—	4,026
175期(2021年5月24日)	3,812		10	0.4	97.1	—	3,974
176期(2021年6月24日)	3,857		10	1.4	97.4	—	3,967
177期(2021年7月26日)	3,819		10	△ 0.7	97.2	—	3,904
178期(2021年8月24日)	3,770		10	△ 1.0	97.7	—	3,808
179期(2021年9月24日)	3,785		10	0.7	97.6	—	3,767
180期(2021年10月25日)	3,861		10	2.3	97.3	—	3,782
181期(2021年11月24日)	3,805		10	△ 1.2	96.7	—	3,694
182期(2021年12月24日)	3,798		10	0.1	97.0	—	3,652
183期(2022年1月24日)	3,666		10	△ 3.2	95.4	—	3,508

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
			騰 落 率	騰 落 率			
第178期	(期 首) 2021年 7月26日	円 3,819		% —	% 97.2		% —
	7月末	3,787		△0.8	97.2		—
	(期 末) 2021年 8月24日	3,780		△1.0	97.7		—
第179期	(期 首) 2021年 8月24日	3,770		—	97.7		—
	8月末	3,832		1.6	97.8		—
	(期 末) 2021年 9月24日	3,795		0.7	97.6		—
第180期	(期 首) 2021年 9月24日	3,785		—	97.6		—
	9月末	3,790		0.1	97.1		—
	(期 末) 2021年10月25日	3,871		2.3	97.3		—
第181期	(期 首) 2021年10月25日	3,861		—	97.3		—
	10月末	3,852		△0.2	97.4		—
	(期 末) 2021年11月24日	3,815		△1.2	96.7		—
第182期	(期 首) 2021年11月24日	3,805		—	96.7		—
	11月末	3,744		△1.6	96.8		—
	(期 末) 2021年12月24日	3,808		0.1	97.0		—
第183期	(期 首) 2021年12月24日	3,798		—	97.0		—
	12月末	3,834		0.9	96.9		—
	(期 末) 2022年 1月24日	3,676		△3.2	95.4		—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

# 運用経過

第178期～第183期：2021年7月27日～2022年1月24日

## ▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第178期首	3,819円
第183期末	3,666円
既払分配金	60円
騰落率	-2.5%
	(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
 ※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

### 基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ2.5%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

### 基準価額の主な変動要因

#### 上昇要因

債券の利子収益を享受したことや、ロシアルールを除く投資国通貨が対円で上昇したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

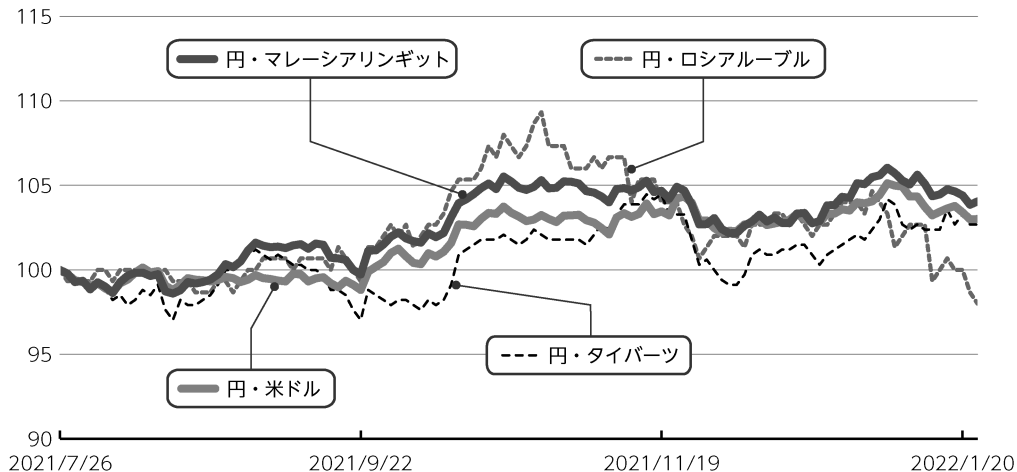
#### 下落要因

投資国の金利が上昇したことやロシアルールが対円で下落したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

第178期～第183期：2021年7月27日～2022年1月24日

## 投資環境について

### 為替市況の推移（当作成期首を100として指数化、対円）



### 債券市況

長期金利は全ての投資国で上昇しました。新型コロナウイルスの感染拡大に起因する供給制約等を背景に、インフレ圧力が強まる中、多くの中央銀行が段階的に金融政策正常化を進めた結果、長期金利は全ての投資国で上昇しました。

### 為替市況

ロシアルーブルを除く投資国通貨は対円で上昇しました。

金融政策正常化の進展を背景に、ロシアルーブルを除く投資国通貨は対円で上昇しました。ロシアルーブルは、ウクライナに関する地政学リスクの高まりなどを背景に、対円で下落しました。

## ▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

### ▶ グローバル・ボンド・ニューマーケット（毎月決算型）

グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド受益証券への投資を通じて、アッパーミドル諸国の公社債を中心に投資をしました。

### ▶ グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド

アッパーミドル諸国の中から、信用格付がA-～A+格相当の国を中心に、債券市場の規模、通貨・投資に係る規制等を勘案のうえ、金利水準が高い国を複数選定し、通貨別資産配分は均等を基本に組み入れました。

投資国は、当作成期を通じて、米国・ロシア・マレーシア・タイの4カ国で運用しました。

## ▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

## 分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第178期 2021年7月27日～ 2021年8月24日	第179期 2021年8月25日～ 2021年9月24日	第180期 2021年9月25日～ 2021年10月25日	第181期 2021年10月26日～ 2021年11月24日	第182期 2021年11月25日～ 2021年12月24日	第183期 2021年12月25日～ 2022年1月24日
当期分配金 （対基準価額比率）	<b>10</b> (0.265%)	<b>10</b> (0.264%)	<b>10</b> (0.258%)	<b>10</b> (0.262%)	<b>10</b> (0.263%)	<b>10</b> (0.272%)
当期の収益	8	10	10	9	9	9
当期の収益以外	1	—	—	0	0	0
翌期繰越分配対象額	165	166	169	168	167	167

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。



## 今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

### ▶ グローバル・ボンド・ニューマーケット（毎月決算型）

グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド受益証券の組入比率を高位とする方針です。

### ▶ グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド

アッパーミドル諸国の政府または国際機関等が発行する当該国通貨建ての債券を中心に投資し、安定した利子収益の獲得

をめざします。

アッパーミドル諸国の中から、信用格付がA-～A+格相当の国を中心に、債券市場の規模、通貨・投資に係る規制等を勘案のうえ、金利水準が高い国を複数選定します。

アッパーミドル諸国の通貨別資産配分は均等を基本とします。また、ポートフォリオ構築にあたっては、各国毎に当該国の国債市場全体のデュレーションを参考にします。

2021年7月27日～2022年1月24日

## 1万口当たりの費用明細

項目	第178期～第183期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	23	0.603	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(11)	(0.302)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(10)	(0.274)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.027)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	1	0.026	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.023)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	24	0.629	

作成期中の平均基準価額は、3,800円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

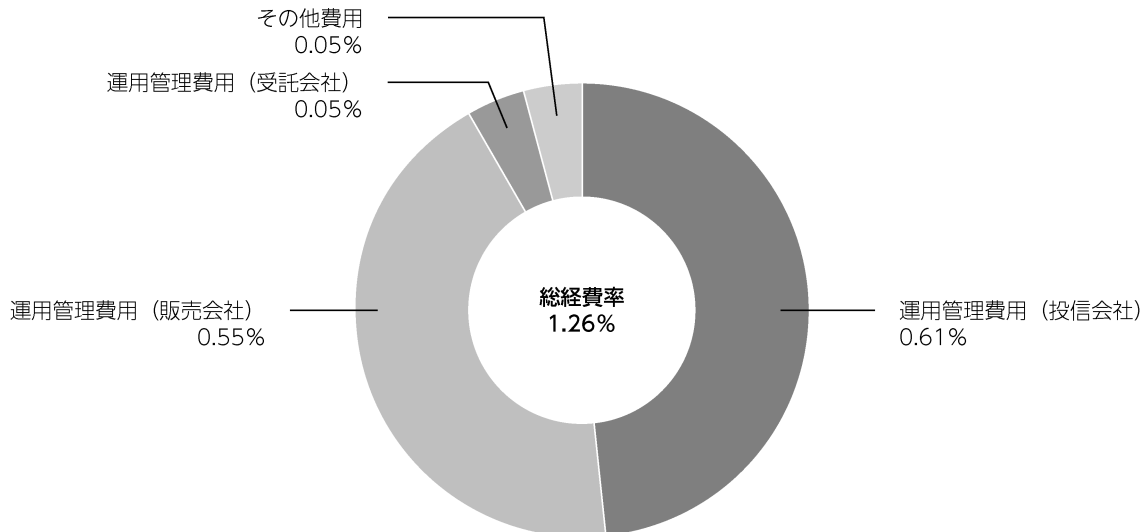
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## （参考情報）

### ■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成中の平均受益権口数に作成中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.26%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2021年7月27日～2022年1月24日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第178期～第183期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド	千口 4,387	千円 5,611	千口 261,409	千円 334,491

○利害関係人との取引状況等

(2021年7月27日～2022年1月24日)

利害関係人との取引状況

<グローバル・ボンド・ニューマーケット（毎月決算型）>

該当事項はございません。

<グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド>

区 分	第178期～第183期					
	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	B A	うち利害関係人 との取引状況D	D C		
為替直物取引	百万円 196	百万円 5	% 2.6	百万円 527	百万円 118	% 22.4

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行です。

○組入資産の明細

(2022年1月24日現在)

親投資信託残高

銘 柄	第177期末	第183期末	
	口 数	口 数	評 価 額
グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド	千口 3,055,569	千口 2,798,547	千円 3,500,143

○投資信託財産の構成

（2022年1月24日現在）

項 目	第183期末	
	評 価 額	比 率
グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド	千円 3,500,143	% 99.2
コール・ローン等、その他	27,590	0.8
投資信託財産総額	3,527,733	100.0

(注) グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産（3,492,007千円）の投資信託財産総額（3,515,842千円）に対する比率は99.3%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=113.86円	1 ロシアルーブル=1.47円	1 マレーシアリングgit=27.201円	1 タイバーツ=3.45円
------------------	-----------------	-----------------------	---------------

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第178期末	第179期末	第180期末	第181期末	第182期末	第183期末
	2021年8月24日現在	2021年9月24日現在	2021年10月25日現在	2021年11月24日現在	2021年12月24日現在	2022年1月24日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	3,828,495,445	3,787,673,751	3,808,288,422	3,710,767,955	3,669,175,286	3,527,733,194
コール・ローン等	12,537,619	12,440,279	12,652,356	12,294,975	12,185,561	11,968,119
グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド(附録)	3,799,931,453	3,758,933,171	3,773,884,637	3,685,589,822	3,643,723,458	3,500,143,811
未収入金	16,026,373	16,300,301	21,751,429	12,883,158	13,266,267	15,621,264
(B) 負債	19,554,640	19,766,093	25,360,343	16,483,721	16,624,972	19,190,602
未払収益分配金	10,103,443	9,953,818	9,796,957	9,708,980	9,617,979	9,571,378
未払解約金	5,724,709	5,871,331	11,669,834	3,022,600	3,377,556	5,878,633
未払信託報酬	3,712,309	3,925,962	3,878,745	3,737,866	3,615,634	3,726,368
未払利息	12	1	7	12	7	5
その他未払費用	14,167	14,981	14,800	14,263	13,796	14,218
(C) 純資産総額(A-B)	3,808,940,805	3,767,907,658	3,782,928,079	3,694,284,234	3,652,550,314	3,508,542,592
元本	10,103,443,794	9,953,818,100	9,796,957,969	9,708,980,459	9,617,979,543	9,571,378,259
次期繰越損益金	△6,294,502,989	△6,185,910,442	△6,014,029,890	△6,014,696,225	△5,965,429,229	△6,062,835,667
(D) 受益権総口数	10,103,443,794口	9,953,818,100口	9,796,957,969口	9,708,980,459口	9,617,979,543口	9,571,378,259口
1万口当たり基準価額(C/D)	3,770円	3,785円	3,861円	3,805円	3,798円	3,666円

○損益の状況

項 目	第178期	第179期	第180期	第181期	第182期	第183期
	2021年7月27日～ 2021年8月24日	2021年8月25日～ 2021年9月24日	2021年9月25日～ 2021年10月25日	2021年10月26日～ 2021年11月24日	2021年11月25日～ 2021年12月24日	2021年12月25日～ 2022年1月24日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 253	△ 122	△ 186	△ 282	△ 234	△ 96
受取利息	7	8	2	—	—	6
支払利息	△ 260	△ 130	△ 188	△ 282	△ 234	△ 102
(B) 有価証券売買損益	△ 35,602,675	29,266,478	88,085,404	△ 41,209,813	6,141,369	△ 113,002,576
売買益	243,525	29,952,815	88,942,578	107,924	6,867,501	371,862
売買損	△ 35,846,200	△ 686,337	△ 857,174	△ 41,317,737	△ 726,132	△ 113,374,438
(C) 信託報酬等	△ 3,726,476	△ 3,940,943	△ 3,893,545	△ 3,752,129	△ 3,629,430	△ 3,740,586
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 39,329,404	25,325,413	84,191,673	△ 44,962,224	△ 2,511,705	△ 116,743,258
(E) 前期繰越損益金	△4,533,376,680	△4,511,860,739	△4,423,000,306	△4,306,840,298	△4,318,127,190	△4,300,622,869
(F) 追加信託差損益金	△1,711,693,462	△1,689,421,298	△1,665,424,300	△1,653,184,723	△1,640,195,765	△1,635,898,162
(配当等相当額)	( 122,441,254)	( 120,659,090)	( 118,786,707)	( 117,751,146)	( 116,675,646)	( 116,149,679)
(売買損益相当額)	(△1,834,134,716)	(△1,810,080,388)	(△1,784,211,007)	(△1,770,935,869)	(△1,756,871,411)	(△1,752,047,841)
(G) 計(D+E+F)	△6,284,399,546	△6,175,956,624	△6,004,232,933	△6,004,987,245	△5,955,811,250	△6,053,264,289
(H) 収益分配金	△ 10,103,443	△ 9,953,818	△ 9,796,957	△ 9,708,980	△ 9,617,979	△ 9,571,378
次期繰越損益金(G+H)	△6,294,502,989	△6,185,910,442	△6,014,029,890	△6,014,696,225	△5,965,429,229	△6,062,835,667
追加信託差損益金	△1,711,693,462	△1,689,421,298	△1,665,424,300	△1,653,184,723	△1,640,195,765	△1,635,898,162
(配当等相当額)	( 122,442,282)	( 120,661,765)	( 118,788,263)	( 117,752,773)	( 116,677,089)	( 116,153,877)
(売買損益相当額)	(△1,834,135,744)	(△1,810,083,063)	(△1,784,212,563)	(△1,770,937,496)	(△1,756,872,854)	(△1,752,052,039)
分配準備積立金	44,812,193	45,344,639	47,407,464	46,160,669	44,898,823	43,961,557
繰越損益金	△4,627,621,720	△4,541,833,783	△4,396,013,054	△4,407,672,171	△4,370,132,287	△4,470,899,062

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ① 作成期首（前作成期末）元本額 10,223,063,310円  
 作成期中追加設定元本額 38,717,050円  
 作成期中一部解約元本額 690,402,101円  
 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.3666円です。

② 純資産総額が元本額を下回っており、その差額は6,062,835,667円です。

③ 分配金の計算過程

項 目	2021年7月27日～ 2021年8月24日	2021年8月25日～ 2021年9月24日	2021年9月25日～ 2021年10月25日	2021年10月26日～ 2021年11月24日	2021年11月25日～ 2021年12月24日	2021年12月25日～ 2022年1月24日
費用控除後の配当等収益額	8,309,118円	11,180,024円	12,600,877円	8,917,502円	8,815,297円	8,889,588円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	—円	—円	—円	—円	—円	—円
収益調整金額	122,442,282円	120,661,765円	118,788,263円	117,752,773円	116,677,089円	116,153,877円
分配準備積立金額	46,606,518円	44,118,433円	44,603,544円	46,952,147円	45,701,505円	44,643,347円
当ファンドの分配対象収益額	177,357,918円	175,960,222円	175,992,684円	173,622,422円	171,193,891円	169,686,812円
1万口当たり収益分配対象額	175円	176円	179円	178円	177円	177円
1万口当たり分配金額	10円	10円	10円	10円	10円	10円
収益分配金金額	10,103,443円	9,953,818円	9,796,957円	9,708,980円	9,617,979円	9,571,378円

## ○分配金のお知らせ

	第178期	第179期	第180期	第181期	第182期	第183期
1 万口当たり分配金（税込み）	10円	10円	10円	10円	10円	10円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。
- ・分配時において、外国税控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

\*三菱UFJ国際投信では本資料のほか、当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

### 【お知らせ】

「FTSE 世界国債インデックス」について、2021年10月末より中国国債の組み入れに伴い、当該指数を参照等する当ファンドにおいて、新たに中国国債の組み入れを適宜開始します。

## グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド

### 《第15期》決算日2021年7月26日

[計算期間：2020年7月28日～2021年7月26日]

「グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド」は、7月26日に第15期の決算を行いました。  
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第15期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	<p>アッパーミドル諸国の政府等または国際機関等が発行する当該国通貨建ての債券を中心に投資し安定した利子収益の獲得をめざします。当ファンドにおいて「アッパーミドル諸国」とは、先進国と新興国の中間領域に位置する国として委託会社が判断した国とします。アッパーミドル諸国の中から、信用格付がA-～A+格相当の国を中心に、債券市場の規模、通貨・投資に係る規制等を勘案のうえ、金利水準が高い国を複数選定します。アッパーミドル諸国の通貨別資産配分は均等を基本とします。また、ポートフォリオ構築にあたっては、各国毎に当該国の国債市場全体のデュレーションを参考にします。投資対象とする債券は、当該国通貨建ての国債、政府保証債、政府機関債、地方債および国際機関債とします。ポートフォリオの流動性等を補完するため米国国債に投資することとし、信託財産の10～20%程度を基本資産配分とします。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>
主要運用対象	外国の債券を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

### ○最近5期の運用実績

決算期	基準	価額		債組入比率	債券先物比率	純資産総額
		期騰落	中率			
	円		%	%	%	百万円
11期(2017年7月24日)	11,878		11.9	96.1	—	7,365
12期(2018年7月24日)	12,251		3.1	95.8	—	6,171
13期(2019年7月24日)	12,775		4.3	94.8	—	5,419
14期(2020年7月27日)	11,930	△	6.6	98.1	—	4,443
15期(2021年7月26日)	12,748		6.9	97.4	—	3,895

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。



○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
(期 首) 2020年7月27日	円 11,930	—	—	—	% —
7月末	11,914	△0.1	98.1	—	—
8月末	12,054	1.0	97.0	—	—
9月末	11,972	0.4	98.2	—	—
10月末	12,051	1.0	97.7	—	—
11月末	12,479	4.6	97.3	—	—
12月末	12,679	6.3	97.9	—	—
2021年1月末	12,706	6.5	98.4	—	—
2月末	12,483	4.6	98.5	—	—
3月末	12,603	5.6	97.8	—	—
4月末	12,660	6.1	97.3	—	—
5月末	12,789	7.2	97.5	—	—
6月末	12,837	7.6	97.6	—	—
(期 末) 2021年7月26日	12,748	6.9	97.4	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ6.9%の上昇となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

債券の利子収益を享受したことや、メキシコペソなどが対円で上昇したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

(下落要因)

メキシコなどの長期金利が上昇したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について

◎債券市況

- ・長期金利は全ての投資国で上昇しました。
- ・バイデン政権による大規模な追加経済対策や新型コロナウイルスワクチンの接種進展、商品価格上昇などを受けて、緩和的な金融政策の早期縮小を織り込む動きが強まったことなどから、長期金利は全ての投資国で上昇しました。

## ◎為替市況

- ・全ての投資国通貨は対円で上昇ないし横ばいで推移しました。
- ・金融政策の正常化観測などを背景とした長期金利の上昇などから、全ての投資国通貨は対円で上昇ないし横ばいで推移しました。

## ●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・アッパーミドル諸国の中から、信用格付がA-～A+格相当の国を中心に、債券市場の規模、通貨・投資に係る規制等を勘案のうえ、金利水準が高い国を複数選定し、通貨別資産配分は均等を基本に組み入れました。
- ・投資国に関しては、期首は米国・メキシコ・マレーシア・タイの4カ国で運用を行っていましたが、2021年7月の定期リバランスにおいて、「メキシコ除外、ロシア採用」の投資国見直しを実施しました。結果、期末の投資国は、米国・ロシア・マレーシア・タイの4カ国となりました。

## ○今後の運用方針

- ・アッパーミドル諸国の政府または国際機関等が発行する当該国通貨建ての債券を中心に投資し、安定した利子収益の獲得をめざします。
- ・アッパーミドル諸国の中から、信用格付がA-～A+格相当の国を中心に、債券市場の規模、通貨・投資に係る規制等を勘案のうえ、金利水準が高い国を複数選定します。
- ・アッパーミドル諸国の通貨別資産配分は均等を基本とします。また、ポートフォリオ構築にあたっては、各国毎に当該国の国債市場全体のデュレーションを参考にします。

○1万口当たりの費用明細

(2020年7月28日～2021年7月26日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 6	% 0.045	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	(6)	(0.044)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
( そ の 他 )	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	6	0.045	
期中の平均基準価額は、12,498円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2020年7月28日～2021年7月26日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	国債証券	千アメリカドル -	千アメリカドル 457
	メキシコ	国債証券	千メキシコペソ 20,152	千メキシコペソ 286,578
	ロシア	国債証券	千ロシアルーブル 735,854	千ロシアルーブル -
	マレーシア	国債証券	千マレーシアリングgit 7,455	千マレーシアリングgit 15,566
	タイ	国債証券	千タイバーツ -	千タイバーツ 22,055

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

○利害関係人との取引状況等

(2020年7月28日～2021年7月26日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	1,489	42	2.8	2,325	1,588	68.3

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2021年7月26日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカドル 2,700	千アメリカドル 3,140	千円 347,146	% 8.9	% —	% 5.8	% 2.1	% 1.0
ロシア	千ロシアルーブル 714,000	千ロシアルーブル 742,404	1,113,607	28.6	—	23.0	5.6	—
マレーシア	千マレーシアリングギット 42,200	千マレーシアリングギット 44,540	1,164,448	29.9	—	17.8	5.9	6.2
タイ	千タイバーツ 329,000	千タイバーツ 348,253	1,170,132	30.0	—	30.0	—	—
合 計	—	—	3,795,334	97.4	—	76.6	13.6	7.2

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	銘柄	利率	当 期 末			償還年月日	
			額面金額	評 価 額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
アメリカ	国債証券	1.75 T-NOTE 220515	1.75	350	354	39,214	2022/5/15
		1.75 T-NOTE 240731	1.75	700	729	80,584	2024/7/31
		2.25 T-NOTE 270815	2.25	600	647	71,624	2027/8/15
		3 T-BOND 420515	3.0	300	359	39,784	2042/5/15
		4.5 T-BOND 360215	4.5	750	1,048	115,937	2036/2/15
小	計				347,146		
ロシア	国債証券	5.3 RUSSIA OFZ 231004	5.3	150,000	145,888	218,832	2023/10/4
		7.65 RUSSIA OFZ 300410	7.65	74,000	77,902	116,854	2030/4/10
		7.7 RUSSIA OFZ 390316	7.7	140,000	149,871	224,807	2039/3/16
		7.95 RUSSIA OFZ 261007	7.95	350,000	368,742	553,113	2026/10/7
小	計				1,113,607		
マレーシア	国債証券	2.632 MALAYSIAGOV 310415	2.632	2,500	2,396	62,647	2031/4/15
		3.48 MALAYSIAGOV 230315	3.48	1,000	1,025	26,801	2023/3/15
		3.757 MALAYSIAGOV 230420	3.757	8,000	8,250	215,691	2023/4/20
		3.757 MALAYSIAGOV 400522	3.757	2,000	1,946	50,886	2040/5/22
		3.899 MALAYSIAGOV 271116	3.899	9,700	10,315	269,673	2027/11/16
		3.955 MALAYSIAGOV 250915	3.955	8,300	8,765	229,152	2025/9/15
		4.498 MALAYSIAGOV 300415	4.498	5,000	5,485	143,399	2030/4/15
		4.893 MALAYSIAGOV 380608	4.893	5,700	6,356	166,196	2038/6/8
		小	計				1,164,448
タイ	国債証券	1.6 THAILAND 291217	1.6	150,000	152,414	512,111	2029/12/17
		2.125 THAILAND 261217	2.125	79,000	84,273	283,158	2026/12/17
		2.875 THAILAND 281217	2.875	100,000	111,566	374,862	2028/12/17
小	計				1,170,132		
合	計				3,795,334		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2021年7月26日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 3,795,334	% 97.1
コール・ローン等、その他	114,607	2.9
投資信託財産総額	3,909,941	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(3,887,636千円)の投資信託財産総額(3,909,941千円)に対する比率は99.4%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=110.54円	1 ロシアルーブル=1.50円	1 マレーシアリンギット=26.1438円	1 タイバーツ=3.36円
------------------	-----------------	-----------------------	---------------

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年7月26日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	3,909,941,287
コール・ローン等	52,955,314
公社債(評価額)	3,795,334,395
未収入金	22,407,668
未収利息	20,838,370
前払費用	18,405,540
(B) 負債	14,617,205
未払解約金	14,617,183
未払利息	22
(C) 純資産総額(A-B)	3,895,324,082
元本	3,055,569,516
次期繰越損益金	839,754,566
(D) 受益権総口数	3,055,569,516口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,748円

<注記事項>

- ①期首元本額 3,724,636,059円  
 期中追加設定元本額 10,322,021円  
 期中一部解約元本額 679,388,564円  
 また、1口当たり純資産額は、期末1.2748円です。

- ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)  
 グローバル・ボンド・ニューマーケット(毎月決算型) 3,055,569,516円

○損益の状況 (2020年7月28日～2021年7月26日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	173,366,962
受取利息	173,368,792
支払利息	△ 1,830
(B) 有価証券売買損益	116,447,090
売買益	311,709,423
売買損	△195,262,333
(C) 保管費用等	△ 1,885,505
(D) 当期損益金(A+B+C)	287,928,547
(E) 前期繰越損益金	718,773,552
(F) 追加信託差損益金	2,523,543
(G) 解約差損益金	△169,471,076
(H) 計(D+E+F+G)	839,754,566
次期繰越損益金(H)	839,754,566

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。